

## 災害時においても議会機能を止めないために、小金井市議会BCP(業務継続計画)を策定

小金井市議会は、議会改革の一環として、大規模災害等が発生した場合においても、議会の機能維持を図るため、議会・議員等の組織体制及び行動基準等を定めた「小金井市議会BCP(業務継続計画)」を昨年3月に策定しています。

### 1 目的

2011年3月に発生した東日本大震災は定例会の開催中に発生し、市議会は、「小金井市議会災害時対応マニュアル」に基づき議会活動を継続しました。その後、2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大・パンデミックにより、国・東京都による緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置等が発令される事態となり、感染防止対策など市議会活動へも大きな影響をもたらしました。

近年、毎年のように各地で大規模災害が発生していることや首都直下型地震が発生する可能性が指摘されていることを踏まえ、小金井市議会として、二代表制の趣旨に則り、議決機関・住民代表機関としての役割を果たし、議会の機能維持を図ることを目的とし、そのために必要な組織体制や行動基準などを定めた「小金井市議会BCP(業務継続計画)」を策定するものであります。

### 2 災害時の議会及び議員の行動指針

- (1) 議会は議決機関として、予算、決算、条例、重要な契約などの審議において、執行機関の事務執行状況をチェックし、また、市の重要な政策形成過程において住民の代表者として地域性や住民ニーズを反映するなど、極めて重要な役割を担っています。議会は、地域で大規模な災害が発生した非常事態においても、議会活動を機能停止することなく、適正で公正な議会運営により、この議会機能を保持する必要があります。そのためには、様々な事態を想定することにより、議会としての災害対応体制を整えなければなりません。また、災害時の初期対応、復旧・復興時においても、住民の代表機関として大きな責務と役割を担う必要があります。
- (2) 合議体として基本的な機能を維持するために議員は、その構成員としての役割を担うことが基本となります。一方で、議員は災害発生時に

は、地域の一員として被災した市民の救援・救護などの初期対応や被害の復旧・復興のための対応に、非常事態に即応したそれぞれの役割を求められます。議員は、議決機関としての議会機能を維持し根幹的な役割を十分に認識すると同時に、地域でのそれぞれの役割に応じて地域の救援・救助活動・情報収集活動などに努めるものとしします。

### 3 想定する災害

小金井市地域防災計画に基づく市災害対策本部、小金井市国民保護計画に基づく市国民保護対策本部が設置される災害基準を概ね準用しています。

災害種別	発動基準
地震	市内で震度5弱以上の地震が発生した場合
風水害	1 暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水警報又は特別警報が発表され、あるいは局地的集中豪雨により、内水氾濫等甚大な被害をもたらす災害が発生し、又は発生するおそれがある場合 2 主要河川について、氾濫注意水位を超え、更に上昇のおそれがある場合
感染症	新型インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症の感染拡大が市民生活に多大な影響を与える場合、又はそのおそれがある場合
その他	1 上記自然災害のほか、武力攻撃災害及び大規模テロ等又は、大規模火災や大規模な事故など、大きな被害が発生した場合、又はそのおそれがある場合 2 その他議長が必要と認めた場合

そのなかで、議会の防災訓練について、災害に対する危機意識を高める観点から、議員と事務局職員を対象として毎年度1回は実施することを規定しており、議会運営委員会において協議を重ねた結果、小金井市議会BCP(業務継続計画)策定後初の市議会防災訓練として、本会議場からの避難訓練を実施しました。

## 小金井市議会BCP(業務継続計画)に基づき、市議会「初」の震災避難訓練を実施

実施日: 令和5年12月1日午前10時より

### 訓練内容

議場での身の安全確保と議会事務局による避難経路確認の後、全議員は駐車場へ避難

- ①本会議中に震度6弱の地震発生！議長は「会議の中止」を宣言
- ②今回の訓練の特徴1「シェイクアウト訓練」今回は約30秒で設定  
大きな揺れを感じたら、その場で「頭を守り身を低くして」(自身の安全確保)揺れの収まりを待ちます。
- ③議会事務局により避難経路の確認ができた後、全議員避難行動へ

議長による総評



### ④今回の訓練の特徴2「障がいのある人の布担架搬送」

- ※高木章成議員の搬送は男性議員4人が有志隊を結成し、訓練前に小金井消防署より訓練指導を受け、訓練当日には布担架による搬送を実施しました(訓練には高木議員本人も参加し搬送方法を確認)。
- ⑤高木議員を布担架で4階から1階まで搬送し、1階で車椅子へ乗せ換え集合場所へ到着(全議員避難に要した実時間は、6分45秒)。
  - ⑥全議員の避難を確認した後、議長による総評と小金井消防署より講評の後、終了。

搬送状況



### 搬送を担当した4人の感想

- ・一段一段、声を掛け合いながら気をつけて搬送を！
- ・訓練を実施してみると様々な課題が明確になり、今後の参考となった。
- ・足元が見えず声かけ連携が重要！
- ・搬送時はバランスが取りづらく、状況を伝え合うことが大事。4階から1階は遠く感じた。

### 小金井消防署による講評内容

- ・事務局による避難経路確認指示及び確認終了連絡は、どちらもはっきりと声が出て良かった。
- ・シェイクアウト訓練と避難する際は、頭部と併せて首の後部も守りながら避難した方が良い。
- ・有志隊は、「1、2、1、2」と声を掛け合いながら避難搬送行動を行ったことは良かった。
- ・概ね「初回の訓練としては良かった。」と評価していただいた。
- ・避難経路廊下のロッカーの転倒防止対策や、議場の蛍光灯照明器具や窓ガラスの破損(飛散防止)対策がされていない等、今後の訓練に対する課題の指摘もあった。

小金井消防署による講評



原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和6年2月20日(火)開会予定です。